

生活保護制度の活用は、早めにしよう！

「夜間宿所・炊き出し・輪番就労」依存からの卒業を・・・

「西成区特区構想有識者座談会」第一回会合も開かれて・・・

釜ヶ崎夜間学校ニュースでは、生活保護制度の活用で、「夜間宿所利用・炊き出し・輪番就労」依存の生活から

と現実に起こることとは、すれ違うことがままあります。

その理由は、単純です。健康に悪いから。夜間宿所の長期利用や公園・路上での生活は、人の健康を損なうものであり、寿命を縮めるものであると信じるからです。公園や路上での炊き出しに並ぶことは、人の自尊心を

野宿生活者の精一杯の生きる努力は評価されるべきであり、追い立てなどすべきではないという意見が主流になるのかも知れません。しかし、一方で、外国人旅行者の受け入れを増やしたい。子育て世代が住める街にしたいという意見も否定しがたいものとして主張されます（私もこの考え方を否定はしません）。

人それぞれに、事情や思いがあります。「身内に今の生活を知られたくない」、「年金担保の借金がある」、「アールコール依存で何度も失敗している」、「今の生活がオレにはあっている」・・・

この二つが、同時に実現する現実はどのようなものでしょうか。炊き出しの列が、外国人旅行者の視線にさらされ続け、ある意味で観光資源となるといいうようなことも想像可能と思いますが、どうでしょう。

ただ、人は社会の中で生きているので、自分だけの事情や思いに基づき今の生活スタイルがいつまでも維持できるとは限りません。「夜間宿所利用・炊き出し・輪番就労」がいつまでも存在し続けるとは限りません。

今と同じ生活スタイルが続けられたとしても、それは今ある「世界」とは別物になると、思えます。結果として、多くの人は別の地に寝場所と食べ物を求めて移動せざるを得なくなるのではないのでしょうか。

「西成区特区構想有識者座談会」が11日、開催されました。懇談会のメンバーは個人見れば、「釜ヶ崎」のよき理解者であり、悪い人はいないと思います。ただ、思い

邪魔者として生活保護に困り込まれるか、自分の生きる選択肢として生活保護を選ぶか。生活保護利用は同じですが、自分にとって、同じ事でしょうか？

やかんしゆくしよりょう しゅうへんのじゆく
夜間宿所利用・センター周辺で野宿

かま さきちいき はぎのちやや たいし さんのう
釜ヶ崎地域（萩之茶屋・太子・山王・
はなぞのきた ない のじゆく ひと かん
花園北）内で、野宿している人や簡
しゆく ひと やかんしゆく
宿（ドヤ）に泊まっている人、夜間宿
しよ りょう ひと
所を利用している人

おおさかしりつこうせいそうだんしよ しこうそう
大阪市立更生相談所（市更相）

アパート・マンションをさがす期間と
てつづ おお ま きかん ふつう
手続きが終わるのを待つ期間（普通
はしゅうかんていど いしよくじゅう かくほ
は2週間程度）の衣食住を確保する
ためいちじにゅうしよ
ために一時入所

せいかつほごしせつ じきょうかん
生活保護施設（自彊館など）

にゅうきよよてい
入居予定のアパート・マンシヨ
ンのじゅうようじこうせつめいしよ ていしゆつ しき
重要事項説明書を提出、敷
きん どうめん せいかつひ う と
金と当面の生活費を受け取る

にゅうきよ
アパート・マンションに入居

にゅうきよ
入居したアパート・マンションの
ちんたいけいやくしよ ていしゆつ
賃貸契約書を提出

にしなりく ほけんふくしか うけつけ めんせつ きゅうふくしじむしよ にしなりくやくしよ かい
西成区保健福祉課 受付・面接グループ（旧福祉事務所・西成区役所3階）

げんざい
現在、にしなりくくない
西成区内のアパート・マンションで生活しており、ちんたいけいやくしよ
賃貸契約書を提出できる人（ゼロ物件・簡宿転業アパート入居も含む）